報告　教２

全　員　協　議　会　資　料
平成31年（2019）3月20日
教育委員会教育部教育政策課

出雲市社会教育計画の策定について

〈出雲市社会教育計画策定の趣旨〉

本市では、社会教育・生涯学習部門を市長部局に補助執行し、各種事業を積極的に展開している。平成27年12月に示された中央教育審議会答申等において、「学校・家庭・地域の連携・協働」が強く求められている中、本市においても、学校教育と社会教育の連携・協働を進めるとともに、社会教育行政を通した「地域づくりを担う人づくり」のさらなる充実を図ることを目指す。

〈出雲市における社会教育の目指すもの〉

１　目的

『げんき　やさしさ　しあわせあふれる縁結びのまち　出雲』を創り出す人づくり

２　基本理念

⑴学びの循環の推進

市民一人一人が学び、人との関わりやつながりによって互いに高まりあい、さらには学びが地域に広がり、地域を変える力につながること

⑵市民だれもが主役

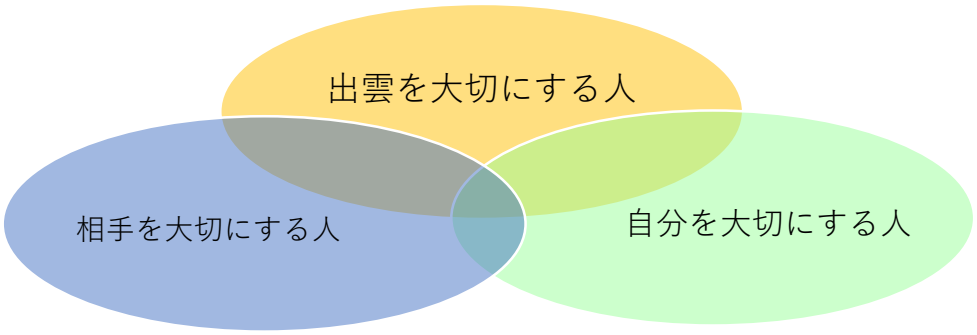
市民が集い語りあうことによって、社会への関心を高め、だれもが主役となって活躍すること

⑶ネットワーク型社会の推進

市民一人一人がそれぞれの役割を生かし、連携・協働しあう社会を構築すること

３　目標

本計画を具現化するために次の3つの目標を設定した。



自分を大切にする人

自分を大切にする人とは、「自己実現を図るため、自分の力を伸ばし、生かそうとする人」である。このような人は、自己の成長の機会を見つけ、自ら進んで学んでいく人であり、また自分の得意なことを生かし、率先して力を出していく人、自分のスキルを上げそれを周りに伝えていく人である。

このような人づくりを達成するために、行政、地域団体、コミュニティセンター、地域企業などが連携し、様々な学習機会を提供するとともに、芸術文化やスポーツ活動を充実させることにより、学びたい、芸術文化やスポーツに親しみたいという機運を醸成する。さらには、学んだ成果や経験を生かすボランティア活動も奨励し、学んだことを生かしたいという意欲をもつ人づくりを推進する。

相手を大切にする人

相手を大切にする人とは「相手を思いやり、助け合い、人と人をつなごうとする人」である。このような人は、相手を尊重し、他と調和して共に生き、社会を創り出していく人であり、また、社会の一員としての役割を認識し、互いが補完し合いながら協働していく人である。

このような人づくりを達成するために、社会教育を通じた、地域住民間の「つながり」を構築し、お互いに相手を思いやり、助け合い、学び合うことのできるような地域の力を高めていくことが重要である。そのため、地域住民がつながり、交流し、活動できる地域のコミュニティづくりを住民自らが主体的に行っていこうとする人づくりを推進する。

出雲を大切にする人

出雲を大切にする人とは「ふるさと出雲を愛し、興味を示し、ふるさとのために動こうとする人」である。このような人は、本市の伝統・文化を大切にし、出雲について進んで学び、ひいては出雲を誇りに思う心をもつ人であり、また、自ら住みよい地域を創り出すため、当事者意識をもち自ら進んで動いていく人である。

このような人づくりを達成するために、本市の文化や伝統を尊重し、自然を愛し、ふるさと出雲に愛着と誇りをもった人づくりを進めることが重要である。このため、ふるさと出雲の「ひと・もの・こと」を教材として、学校教育ではふるさと教育やキャリア教育の推進を、地域ではコミュニティセンターや地域団体が主催する体験活動を展開し、人間性豊かな人づくりを推進する。また、ふるさと出雲の課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断、行動し、課題を解決しようとする意欲をもった人づくりを推進する。

4 基本方針

基本方針とは3つの目標を達成するための目指す方向であり、そのために具体的に9つの方針を設定し、取組を推進する。

①芸術文化等に触れ、感動する豊かな心の育成
②スポーツに親しみ積極的にスポーツ活動に参加する意欲の醸成
③ボランティア意識の醸成と活動の充実
④人を思いやる心・互いを認め合う心の育成
⑤リーダーやコーディネーター等人材の育成
⑥家庭・地域・学校が連携・協働し、「子どもを育てることで大人も育つ」体制づくり
⑦地域づくりに参画する意欲の醸成
⑧出雲の「ひと・もの・こと」を知り、それを伝えようとする人づくりの推進
⑨よりよい出雲の未来を築くための学びの推進